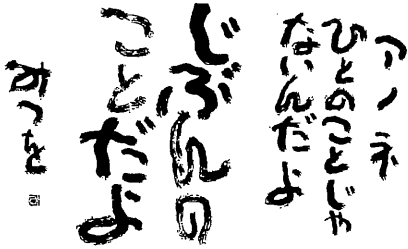


さくら第513号

令和 4年 9月

## さくら

発行所 さくらそろばん  
発行者 平瀬重雄  
春江町境 17-7:TEL51-1337  
hirase@mx2.fctv.ne.jp

## 『予定と約束』

さくらそろばんでは検定試験を珠算能力検定試験と全珠連検定試験を受験しています。競技大会では福井県大会と教室で開催する通信コンテストとアバカス福井などに参加し、常に自分の目標を立ててそれをクリアすべく日々の練習を続けます。

さて、何事にも受付日と締切日があり、その期間内に申し込みます。仕事ならば品物を納める日時があり、連絡するような事務的な事も約束した日時までに対応せねばなりません。

いいかげんな約束をしてそれを自分の都合で守らなければ相手に損害をあたえたり、時によっては損害賠償にもなりかねません。

ところで、検定試験を例にとると、珠算能力検定試験の段位から3級までは6月、10月、2月の年3回の開催のみです。

そろばんの試験では、受験する人は受験料をそえて申し込みをします。

皆さんから受付した各級や段位の受験者数を一覧表にして受験料と一しよに福井商工会議所へ持参します。各協会員から出された受験者数をとりまとめて、東京の日本珠算連盟本部へ連絡し受験料を送金します。

日本珠算連盟では受験者数が決まると問題を印刷し各地の商工会議所へ送付します。

福井商工会議所では受験者数が決まると試験会場をとすべく会議室や地下のコンベンションホールの収容人数をもとに配置場所を決めます。

コロナ感染のためこれまでの半数しか収容できないため会場が多くなり、その分の費用も

増えます。また、試験委員や審査委員も増えます。

試験が終了すると審査があり合否が決まりやがて皆さんに受験結果が伝えられ一喜一憂する様子はいつも同じです。1級の合格率は約15%から20%。2級は30%から50%で3級は50%から70%がだいたいの結果です。

ところで、試験が近づくといろいろな事があります。締切日が近づくので受験をどうするのかと問えば「まだ、分かりません。それまでに用事があるかも知れません」との返事。

そこで、試験の日に何か用事が決まっているのかと訊けば、「今はまだ何もないけど、まだ日にちがあるので分かりません」。

いつになればはっきりするのかと言えば、首をかしげるだけ。押し問答をしても進展がないので、何日までに言わなければ受験なしにするからと念を押して終了。結局は受験した。

受験料納入の袋をわたしてもカバンの中に入れてままの人がよくいます。忘れた、今度持ってきますと言いながら試験の前日になってもまだです。受験料は前もって立て替えてあるから受験できますがとても困ります。試験の日に持参する人もいます。

驚くことがあります。都合で受験できなかったので試験料を返してください。試験の1週間前になって、家族で遊びに行くことになったので試験料を返してください。と当然のように言われることがあります。そんな事できるはずがありません。

検定試験や競技大会など塾報さくらでお知らせしていますので前もって予定を立て、決めておいてください。その日に何が起きるか分からないからはっきりできないというのなら、その日まで何も計画できません。

開催日に急な用事で参加できない時にはどちらを採るか決めて、そのために起きるマイナス要因は自分で受けとめます。約束事で成り立っている日々の行動をよくなる方へと向ける努力が必要です。前もって動くかその場あたりの行動のどちらをするかは自分次第です。